

## ご提案

### **【まずは、適正な黒字決算と税務申告のために・・・】**

仮に貴社自身が単独で決算体制を構築したい場合は、しっかりとした会計システムを導入することをお勧めします。簡単に作成できると言われている複式簿記式のエクセルワークシートで作成する方法も考えられますが、これで行うにはある程度の複式簿記の知識が必要となります。また、このようなエクセルシートでは、複雑な取引の処理や業績管理資料の作成等に関して限界があります。やみくもにこういったエクセルシートに手を付けると、必ず行き詰ることになるので注意が必要です。

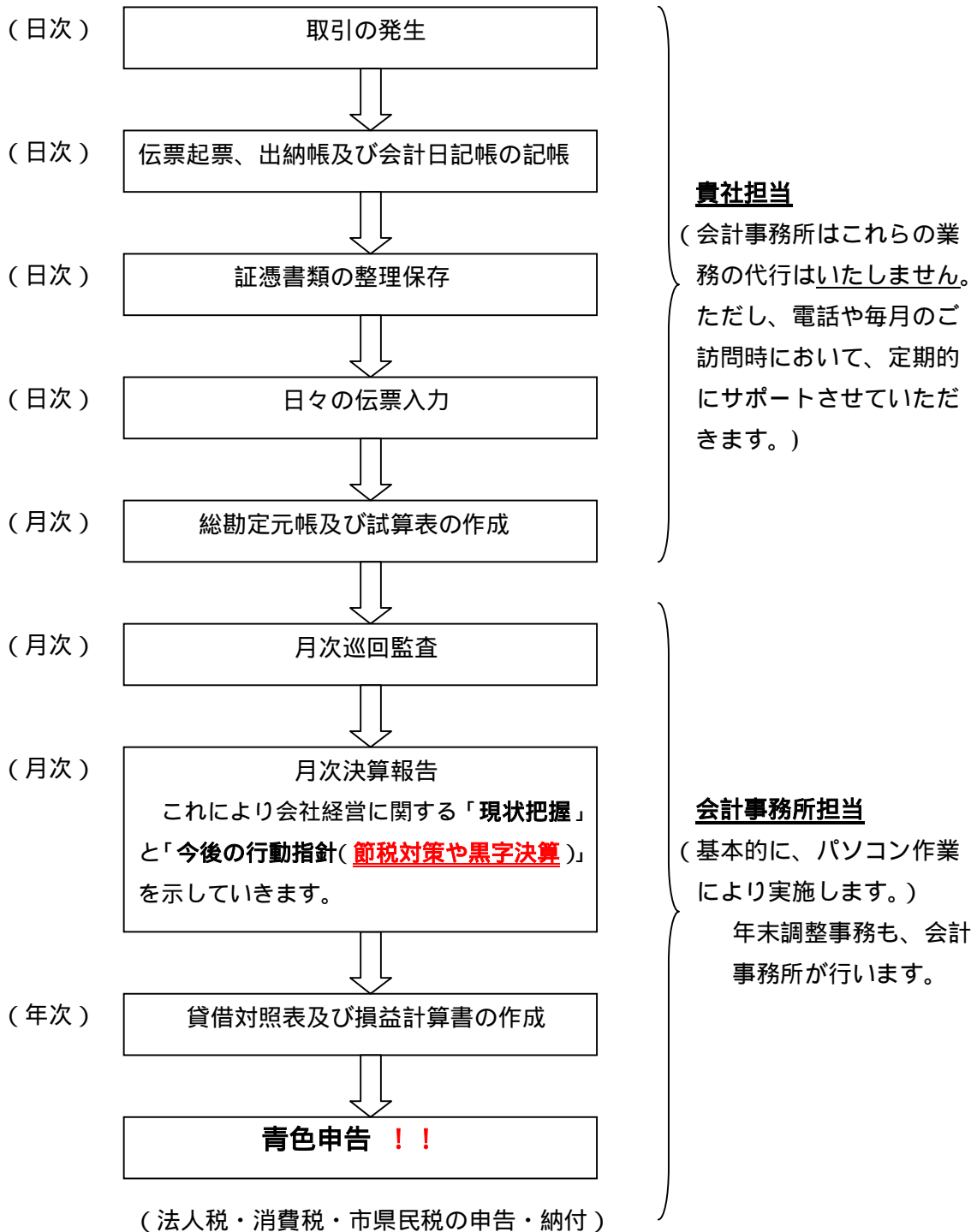
したがって、「今すぐに単独で決算体制を構築したい」ということであれば、若干のシステム料が発生しますが、きちんとした会計システムを導入することをお勧めします。

つまり、貴社の場合、会計システムを導入していただき、日々の伝票入力から総勘定元帳や試算表等の会計資料の作成まで貴社が単独で行うこととなります。

そして、以下の経理サイクルと弊事務所のサポートサービスにより、貴社の適正な黒字決算と税務申告体制は確実に確保されます。

特に、毎月の弊事務所による巡回監査により、適正な月次決算を確保し、さらに適切な「節税対策」と「黒字決算」が可能とし、貴社にとってコスト以上の利益をもたらすことは間違いありません。

## 貴社の経理サイクルと弊事務所のサポート体制



### 【そして、さらなる会社発展のための経営計画の作成】

経営計画を作成することに下記のような効果があり、結果的にそれが会社経営をより強くします。

#### 適切な黒字決算と節税対策の実現のための「PDCAサイクル」の定着

毎期、適切な黒字決算と節税対策を実現するためには、業績管理（PDCA）メカニズムを社内に組み込むことが重要です。「中期経営計画」に基づく「短期利益計画」の策定および月次決算に基づく計画と実績の検証が重要となります。

#### 【PDCAサイクル】

PLAN（計画）

中期経営計画の策定、短期経営計画の策定

DO（実行）

選択と集中、成果の拡大、迅速・正確な月次決算

CHECK（検証）

全社・部門別の予算実績差異分析と期末業績予測

ACTION（対策）

販売計画の見直し、固定費圧縮計画、戦略的決算対策

#### 経営計画ができない企業は銀行借入ができない？

中小企業の資金調達は、何といても、銀行・信用金庫・信用組合等の民間金融機関からの資金借入が主力となっていますが、この数年、金融機関による融資の判断基準が大きく変わっています。

赤字決算の企業や、行き当たりばったり、どんぶり勘定で経営している企業には、金融機関からの新たな支援は受けられず、場合によっては、貸し剥がしの対象になりかねないという時代になりました。特に、債務者区分が「要注意先」以下に該当すると判定された企業の場合は、業績改善に向けて、説得力のある「経営計画」(経営改善計画)を作成して、金融機関に提示し、その進捗状況を定期的に報告することが不可欠です。したがって、経営者は、常に会社を取り巻く外部環境の変化をよく理解しておく必要があります。

平成××年 ×月 ×日

株式会社 御中

公認会計士・税理士 坂口会計事務所

### 平成××年度 会計・税務顧問報酬のお見積もり

貴社、平成××年度（平成××年×月×日から平成××年×月×日）の会計・税務顧問報酬に関して、現時点で想定しうる事項を考慮して下記の見積もりを作成いたしました。ご検討のほどよろしくお願い致します。

#### 記

・ 年間訪問回数（毎月訪問）	12 回
・ 月次料金	35,000 円
・ 年末調整事務	10,000 円
・ 決算書・申告書作成	100,000 円
・ 年間合計料金（ ×11 ヶ月(注1) + + ）	495,000 円
経営計画作成料	50,000 円

（注1）弊会計事務所の標準料金体系表に基づき、初期記帳指導の最初の1ヶ月間は無料とします。

（注2）月次料金は、旅費・交通費込みで計算しております。

（注3）上記見積額には、消費税等は含まれておりません。